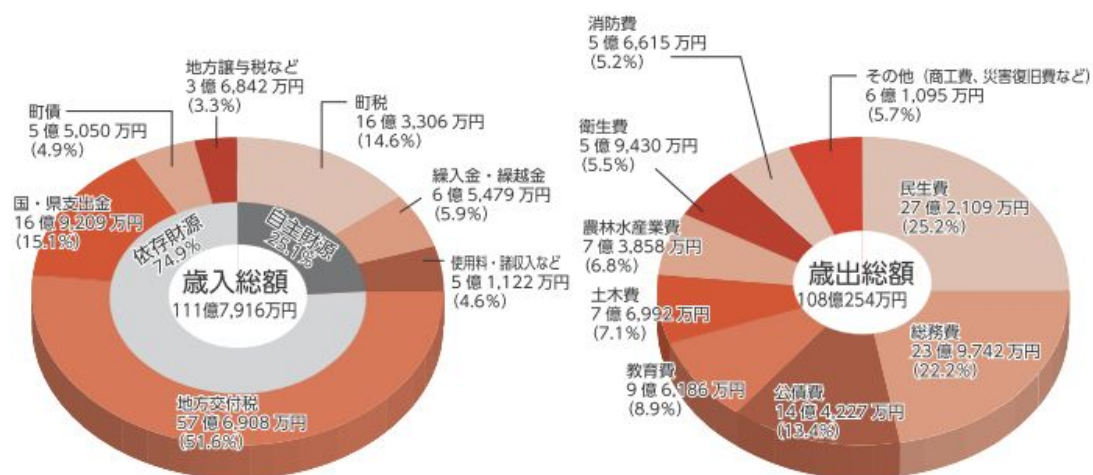


平成 26 年度決算のあらまし

平成 26 年度一般会計の歳入（収入）は 111 億 7,916 万円で、歳出（支出）は 108 億 254 万円であり、歳入歳出の差し引きは 3 億 7,662 万円となりました。また、ここから平成 27 年度へ繰り越した事業の財源 3,368 万円を差し引いた実質的な収支は、3 億 4,294 万円の黒字となりました。

歳入は平成 25 年度と比較して、6,733 万円増加しました。これは、町民の皆さんが納めた町税や財政調整基金等からの繰入金の増加が主な要因です。

歳出は平成 25 年度と比較して、7,110 万円減少しました。これは、職員の定員適正化計画等の実行による人件費、計画的な借金返済や新たな借金の抑制に伴う公債費及び公共施設等の除染事業が平成 25 年度に完了したことによる災害復旧費の減少が主な要因です。



一般会計決算収支の状況

区分	平成26年度 決算額 (A)	平成25年度 決算額 (B)	増減額 (A)-(B)	増減率
歳入 (ア)	111億7,916万円	111億1,183万円	6,733万円	0.6%
歳出 (イ)	108億254万円	108億7,364万円	△7,110万円	△0.7%
差引 (ウ) =(ア)-(イ)	3億7,662万円	2億3,819万円	1億3,843万円	—
翌年度へ繰り越す べき財源 (エ)	3,368万円	3,296万円	72万円	—
実質収支 =(ウ)-(エ)	3億4,294万円	2億523万円	1億3,771万円	—

特別会計の決算状況

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理するもので、これらの平成26年度の決算額は次のとおりです。

会計名	歳入合計 (A)	歳出合計 (B)	差引額 (A)-(B)	
国民健康保険	28億9,275万円	26億5,610万円	2億3,665万円	
介護保険	25億618万円	24億1,757万円	8,861万円	
後期高齢者医療	2億2,924万円	2億2,793万円	131万円	
下水道事業	6億2,828万円	6億1,040万円	1,788万円	
農業集落排水事業	1億1,192万円	1億757万円	435万円	
個別合併処理浄化槽事業	975万円	857万円	118万円	
工業団地造成事業	2,539万円	2,523万円	16万円	
住宅団地造成事業	298万円	73万円	225万円	
永井野財産区	18万円	15万円	3万円	
水道事業 (消費税抜き)	収益的収支	4億3,257万円	4億5,554万円	△2,297万円
	資本的収支	1億3,973万円	2億8,719万円	△1億4,746万円

町債残高（借入金）の状況

町債とは、主に町民生活の基盤である道路や公園、学校などの長期間にわたって町民の皆様にご利用いただく公共施設を整備するときに、国などから借りるお金のことです。

会計名	平成26年度末 残高	平成25年度末 残高	比較
一般会計	105億6,823万円	113億1,288万円	△7億4,465万円
下水道事業特別会計	35億9,135万円	36億6,164万円	△7,029万円
農業集落排水事業特別会計	8億7万円	8億6,468万円	△6,461万円
個別合併処理浄化槽事業特別会計	6,193万円	6,508万円	△315万円
水道事業会計	16億1,005万円	17億5,209万円	△1億4,204万円
合計	166億3,163万円	176億5,637万円	△10億2,474万円

町民1人当たり残高 約77万円（昨年は約80万円）

（平成27年3月31日現在人口 21,690人）

一般会計の積立金（基金）の状況

基金の名称	平成26年度末 保有額	平成25年度末 保有額	比較
財政調整基金	23億8,851万円	17億9,266万円	5億9,585万円
減債基金	6億2,451万円	6億5,419万円	△2,968万円
公共施設整備基金	21億3,410万円	19億8,077万円	1億5,333万円
国営会津宮川土地改良事業基金	10億4,611万円	11億3,559万円	△8,948万円
震災復興基金	1億5,776万円	1億5,770万円	6万円
その他基金	5億1,549万円	5億3,186万円	△1,637万円
合計	68億6,648万円	62億5,277万円	6億1,371万円

町民1人当たり保有額 約32万円（昨年は約28万円）

（平成27年3月31日現在人口 21,690人）